

# ALL for ONE

Communication Magazine

Vol.26

～個と全体～

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社  
代表取締役社長 野津 基弘

## グループ存在目的 ～個と全体は「目的」の価値でつながっている～ ONE for ALL ALL for ONE

存在目的は個と全体の連携をあらわしたものだ。

自分という個は、会社、地域社会、国、世界からみれば、ちっぽけで、全体が決めたルールに従うしかない存在だと思っているかもしれない。

でも良く考えて欲しい。

例えば、家族や会社の仲間は元氣のないあなたの姿を観て、それでも給料が貰えるから幸せだと思うのだろうか。逆の立場でもそう思うのだろうか。家族や会社の仲間は幸せなら自分も幸せ、というのは一見すると良い話に聞こえるが、実際は家族も、会社の仲間も、自分も幸せではない。結局は自分が幸せでないと人を幸せに出来ない、ということ。

自分が自分を善くできると思っていなければ、全体である家族や会社、地域社会、国、世界が善くなることは起こらない。

自分が自分を幸せにできれば家族も幸せにできる。  
自分が家族を幸せにできれば会社も善くできる。  
自分が会社を善くできれば地域社会も善くできる。  
自分が地域社会を善くできれば国も善くできる。  
自分が国を善くできれば世界も善くできる。

大げさに聞こえるかもしれないが、つまりは、自分という個は全体からの影響を受けるだけでなく、自らが全体へ影響を及ぼす存在だということ。影響力の大小はあるだろうが、確実に個と全体は密接につながっている。

言い換えれば、あなたの目の前で起こっている問題は、全体のせいではなくあなたの日々の選択の結果なのである。

だから個が全体を考えることが大切。  
全てを全体任せにして、全体が個に何かをしてくれるのを待つのではなく、個である自分が、全体をどうしていくかを考えることが重要であり、全体をどうしていくかを考えると、自らの意志と行動と結果が生まれやすくなる。その時に一番大切なのが「目的」の価値。  
個と全体は「目的」の価値が一致して初めてつながることが出来る。

個から発する意志は自由。  
しかし、森という全体を観ず、木という個だけ観ても自己満足で終わり何も解決しない。  
上司や組織のせいにして嘆くのではなく、会社を主語にしてやるべきことは何かを上位概念に照らして考え、個であるあなたが全体を観る視点を持てば、自ずとやるべきことが見え、必ず可能性と解決策が見つかる。  
肩書や立場は関係なく、**自分の考え、感じたこと、思ったことを、より具体的に相手に伝えること。**  
相手が誰であろうとも「目的」の価値を共有し、相互に理解・納得、一致させることが出来れば、ざっくばらんに話し合える「心理的安全性」が生まれ、個の能力を全体に向けて発揮することが出来る。  
つまり、個であるあなたが全体を動かすことが出来る。

全体を善くしていくためには何が必要なのか？  
個の幸せとは何かを論じながら「目的」の価値を常に意識し、私はみなさんの想いや意見、考えや具体策を受け入れ、話し合っていきたい。  
私はそのようにして、個であるみなさんの安心感を生んでいくことで、全体を善くしていきたいと思っています。

〈真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする〉  
自分が全体を善くするんだ！という視点で自分をより善くし、愛情と覚悟を以って「目的」の価値を伝播していきたい。  
それが社風・文化となり、誇りあるブランド構築につながっていくのだと思っています。



spin off

5月14日 東京本社全体朝礼より

令和元年、新しい天皇陛下が御即位されたことは大変嬉しく、心からお祝いしたいと思います。日本と世界の観点の両面から物事を捉えると、上皇陛下はその御言葉の通りに貫かれた30年だと思えば同時に、生前退位について、とてつもない戦略と戦術とそのタイミングによって成された御英断だったと思います。世論調査においても約90%の国民が支持しました。

今年のGWはイギリスで過ごしましたが、会って挨拶してくれる方々のほぼ全員が「Congratulations !!」と新天皇陛下即位のお祝いの言葉をかけてくれました。国際関係上、日本がどう世界から見られているか…現場で感じる事が出来て良かったと思っています。

英国と言えば王室、日本は皇室です。さて、皆さんに聞きたいのですが、『王と天皇』の違いを答えられる人はいますか？名前の違いではありません。格が違います。王より天皇の方が上位です。そもそも存在自体が違います。何故なのでしょう？

これは、弊社グループの上位概念である、日本国・国民としての誇りと自信を持ち…という理解・納得しておかねばならない事実です。海外の人の方が日本国への尊厳を理解し、日本人が知らない…という訳にはいきません。当社の社員でなくても知っておいてもらいたい事実です。信じて救われることではなく、日本人として、どれだけの人たちがその事実を理解・納得し、答えられる人はどれくらいいるのでしょうか。もし、理解・納得している人が少ないのなら、天皇陛下の御言葉の半分の意味も理解出来ないことになってしまいます。

何故天皇陛下が、日本国・国民の安寧（あんねい）と世界平和を毎日祈念されているのか…単にお人柄として、優しく、素直な国民性と宗教観、在るべき人間性や理想を以って、平和を希求されているのでしょうか？もちろんそれもあります…それだけではありません。日本国天皇は、日本国の歴史・伝統・文化は当然のことながら、世界に於ける日本国の立場と責任、権利と義務があることを御認識されています。

#### 〈王と天皇の違い〉

王とは、貴族（豪族）の競争の結果の上に成り立っている。天皇は国民の上に成り立っている。王は貴族が継承されることが許されるが、天皇は競争がない分、皇室と男系が守られているから天皇であり、その正統性が国家の価値そのものになっている。日本国は結果的に、天皇と国民との関係が立憲君主国として2679年間成立している事実。そのような国はこの世界の歴史でも、現存する国家としても、唯一無二の存在であることが国際関係上認知されている。つまり日本は上位国であり、天皇陛下は、それを御認識された上で責任と権利と義務を貫こうと為されているということです。

新天皇陛下が御宣言されているように、今までの125代続々天皇の大御心（おおみごころ）を踏襲し、これまで以上の責任と権利と義務を全うされることを心より願っています。私は国外から認知されている日本国と、日本国・国民が自国で認識出来てい

ないこととのギャップを埋めていかねばならないと思っています。

戦後憲法下となった皇室典範では、皇籍にある方が天皇を継承する。現在秋篠宮文仁親王さま、悠仁親王さま、常陸宮正仁親王さまのお三方が皇位継承権をお持ちであり、有史以来最少である危機的状況であることは事実。皇位継承を安定的に維持していくには、打開策の検討が急務であることを国民は理解・認識しておかねばならない。上皇陛下の生前退位の御意志を国民である我々に委ねられた御英断であったように、皇位継承についても皇室典範が戦後憲法下におかれた以上、憲法上、我々国民の意志に委ねられることとなります。

我々国民（個）は国（全体）のことを考え、日本国・国民としての歴史・伝統・文化を誇りに持ち、世界に向けて恥ずかしくない人間へと、精進することが重要であると考えています。国というのは、経済力・政治力は勿論ですが、イギリスの人たちが関心を以って挨拶してくれたように、その国の歴史・伝統・文化をどのようにその国民が理解・納得しているかで、その国力を計るものなのです。

#### 〈己を知り全体を知る〉

当社グループと社員の皆さんが、周りからどう認識され、どう期待され、どういう責任と権利を持っているのか？日本国の歴史・伝統・文化をどう考えているのか？『己を知り全体を知る』。日本を知ること、自社の存在意義を知ること、自己認識の高さが問われることと共通すべき点だと考えています。

外敵・外圧というものは必ず存在します。何があっても崩れない、へこたれない強い自己を形成する上でも、自己認識が重要だと思っています。皆さんは、自分と、自分が勤めている会社を自己認識出来ていますか？強さも弱さも認識して、前を向き、上を目指す可能性を信じ、動じない自己を形成出来ていますか？誇りと自信を持っていますか？

存在意義、ブランドを構築するということは、売上高や利益額に左右されるものでも、広告費を掛けたから培われるものではありません。人が人に伝えていくことで、はじめて構築されていくものです。それが社風・文化となり、会社の判断とはこれらを基に為されていくものです。己を知り全体を知る、歴史・伝統・文化を知ること、宗教や思想の観念ではありません。

全体がどのように成り立っているのかは、義務ではありませんが個が知る権利があり、それが文化度・民度となります。当事者意識とは、個が全体を観る力だと思えます。知識と教養、理解と納得があれば、宗教・思想・感情論の勘違いを回避できます。価値を知るには知識が必要、感動するにも知識が必要です。

この令和元年という機会に、知識を備え、改めて考えていただければと思います。

出典 ・ 倉山満 (2017) 『日本一やさしい天皇の講座』扶桑社新書  
・ 塩野七生 (1992 - 2006) 『ローマ人の物語 全15巻』新潮社  
・ 塩野七生 (2008) 『ローマ亡き後の地中海世界』新潮社

# 誇りと自信持ち、未来創造する 新入社員87人が入社！



2019年度グループ合同入社式が、4月1日、岡山市北区のグループ本社ビル、ターミナルスクエア12階大ホールで開催されました。

オハヨー乳業、カバヤ食品、ライフデザイン・カバヤ、リンク&リンケージ、エクセルパック・カバヤ、東京レジャー開発、ライフパートナーイケダの新入社員87人が出席。新社会人として新たな人生のスタートに緊張した面持ちでしたが、野津基弘社長は「グループ会社には約3000人の仲間がいます。役職、部署関係なく、互いに切磋琢磨しながら歩み、ものづくり、サービスに対する誇りと自信を持って業務に取り組んでください。また、与えられた仕事を覚えながらほかの人の仕事にも興味を持ち、

世の中の仕組みを理解するように努め、一日も早く会社に貢献できる人材になることを期待しています」と激励しました。入社後の講話では、存在目的や経営方針、また、経営者の仕事に対する考え方や楽しみ方など、自身の趣味であるゴルフやプライベートな話を交えながら紹介しました。

新元号「令和」が発表され、新たな時代が幕を開けます。新入社員のみなさんは、何事もできるまでやり切れる人間になれるよう、日々さまざまなことに興味を持ち、学ぶ努力を継続することで社会人として誇りを持つ人になることを期待しています。

# 日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ 2019年入社式コメント



専務取締役 三國慎

ホンモノは、おいしい。  
**OHAYO**

## ■オハヨー乳業株式会社

中長期経営計画第1期は思うように計画を進められませんでした。今年度は、ブランド経営の実践、収益改善、事業継続性の担保を目指していきます。また、重点商品としてロイテリヨーグルト、ジャージー牛乳プリン、アイスクリーム「ブリュレ」の3品をブランドとして確立したいと思います。



専務取締役 榎田了次郎

**Kabaya**

## ■カバヤ食品株式会社

これまで「変革」をテーマにチャレンジした結果、各社員の努力もありブランドを起点にしたビジネスモデルの基盤を確立できたと思います。課題は、それを継続する強固な意志と部門間の連携です。ブランドづくりのためにも組織の仕組みを再構築し、大きく飛躍する1年にしたいと思います。



専務取締役 窪田健太郎

**Life Design  
KABAYA**

## ■ライフデザイン・カバヤ株式会社

今期は木で町並み変えるため、木造集成パネル建築材「CLT」を使用し、中低層のビル建築をより一層進める考えです。社員を幸せにするため、人の暮らしに寄り添う会社を目指し、社員一丸で目標に向かって取り組んでいきたいと思っています。



専務執行役員 石邸貴久

Link  
&  
Linkage

## ■リンク&リンケージ株式会社

2019年度の具体的な取り組みとして、ロジスティック事業では新しいチルドセンターの稼働、PSI事業では需給、受注業務の外販への拡大、IT事業部では、グループ内コミュニケーションの変革と災害に強いIT基盤の構築を目指します。また、新たに人材派遣事業部を立ち上げ、グループ内の事業展開に対応できる人材育成に取り組めます。



取締役 若林彰



## ■エクセルバック・カバヤ株式会社

西日本でトップクラスの品質、顧客満足度を目指すため、企画、設計、デザインをしっかりと提案できる体制を構築し、内製化による生産性の向上を図っていきます。また、高付加価値製品を販売することで、収益性も高めていく考えです。さらに先を見据え、次世代のパッケージ製造を目指し、オンデマンドによるパッケージ作成を検討していきたいと思っています。



常務取締役 坪井直樹

**TL**

## ■東京レジャー開発株式会社

今年度は収支の改善を目標に、人材の確保、育成にまい進する考えです。一番の柱はザ・ロイヤル ゴルフクラブのブランディングによる会員募集です。今年も男子ゴルフツアーのミスノオープンを開催します。そのほかにも色んなトーナメントを企画し、女性ゴルフツアーやジュニアの育成にも力を入れていく考えです。



執行役員 営業本部長 長岡芳一

### ■ライフパートナーイケダ株式会社

ペットも食べ物などの改良が進み、長生きするようになっていきます。外部の力を借りながら動物病院やペットホテル、しつけ教室などにも力を入れていきたいと思っています。そのためにはスタッフの育成が前提になります。自信を持ってお客様に提案、接客ができる人材を育てていく考えです



取締役 櫻田了次郎

### ■オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社

口腔ケアや腸内環境の改善、免疫力アップにつながるスーパー乳酸菌「ロイテリ菌」を活用し、歯科医などと協力しながら商品のPR強化を図っていきます。今年はより価値の訴求を図り、オハヨー乳業と協力しながら認知を広げ、国民の健康維持の一助になれるよう努力していきたいと思っています。



執行役員 編集長 大森昭伸

### ■株式会社瀬戸内海経済レポート

岡山県内中小企業のシンクタンク的存在を目指し、今年も着実に事業を形にしていきたいと思っています。その中で今年度は、ベンチャー企業の支援強化、地元コンサル企業とコラボしたセミナー開催も取り組む考えです。また、グループ広報で培ったノウハウを生かし、グループ外企業への広報代理事業も展開する考えです。さらに、ビジネスマッチングサイト構築への準備も進める予定です。



執行役員 総務部長 渡辺康宏

### ■株式会社スクエアビル

今期も継続してビルの高品質を維持し、テナントの満足度を高め、入居したいオフィスビルNO.1であり続けるよう努めていきます。また、収益物件として新たなオフィスビル取得に向けて、さまざまな地域で不動産情報収集に力を入れていきます。そのほか、グループ所有不動産の管理を徹底するため、社員の結束を高め、目標を達成していく考えです。



常務理事 高岡信吾

### ■専門学校岡山情報ビジネス学院

少子高齢化により厳しい現状が続いており、2020年4月には大手のライバル校が岡山県に進出してきます。今後はどのように学校をブランディングするかが課題です。これまで培ってきた教育方法などのエビデンスをしっかりとPRし、地元企業へ優秀な人材を輩出できる学校になれるよう努力していきます。



取締役 営業部長 小幡省二

### ■トータルアシスト・カバヤ株式会社

今期は新しい福利厚生制度を実施する予定です。また、各種セミナーを通して社員に役立つ情報を提供していきます。そのほか、保険の団体割引など社員にメリットのある保険をPRし、グループ内でより一層知名度アップ強化に取り組めます。



取締役 伊藤英明

### ■株式会社サンユー総合教育研究所（希望高等学園） ■学校法人三友学園（自由高等学院）

小人数制によるきめ細かい教育により、学問だけでなく、社会性も身に付けさせることをこれまで以上に徹底していきます。また、教職員のプレゼンテーション能力の向上を図りながら、生徒数を増やしていく施策に取り組む考えです。

# NEW FACE 2019

2019年 新入社員

ホンモノは、おいしい。  
**OHAYO**  
オハヨー乳業



石川 大地  
(埼玉県)  
ウエイトトレーニング



伊東 歩美  
(滋賀県)  
パン屋・カフェ巡り



上野 拓馬  
(茨城県)  
お笑い鑑賞



笠倉 梨加  
(東京都)  
花の観賞



木村 萌子  
(熊本県)  
ヨガ、海外旅行



コバタケ  
小島 夕輝  
(岡山県)  
ゲーム



澤 優貴也  
(鳥取県)  
スポーツ、釣り



菅野 誠也  
(神奈川県)  
筋トレ



鈴木 愛  
(神奈川県)  
野球観戦



瀧澤 可偉  
(栃木県)  
料理



仲重 愛  
(茨城県)  
楽器演奏



中西 希依  
(香川県)  
ダンス



楢橋 凜  
(神奈川県)  
スポーツ観戦



原田 航夢  
(岡山県)  
美味しいものを食べる



日山 界  
(鳥取県)  
弓道、散歩



古田 聖季  
(兵庫県)  
バドミントン



古本 和輝  
(広島県)  
スポーツ、将棋



三浦 奈津美  
(岡山県)  
旅行に行くこと



山我 拓矢  
(茨城県)  
弾き語り、サッカー



和田 沙里奈  
(神奈川県)  
動物園巡り



石橋 優菜  
(茨城県)  
旅行



ウエタ  
上田 好海  
(茨城県)  
スポーツ



内山 優花  
(茨城県)  
音楽を聴くこと



大森 未裕  
(岡山県)  
音楽、ダンス鑑賞



オヌマ  
小沼 和香奈  
(茨城県)  
音楽鑑賞



櫻村 ふゆ美  
(茨城県)  
音楽鑑賞



片岡 海  
(岡山県)  
カラオケ



片岡 宏睦  
(岡山県)  
マンガ



加藤 凌  
(岡山県)  
アニメ



久保田 美紅  
(茨城県)  
音楽鑑賞



齊藤 謙介  
(茨城県)  
読書



澤野 隆太郎  
(茨城県)  
読書



隅田 一輝  
(岡山県)  
カラオケ



寺見 柊人  
(岡山県)  
釣り



野口 朝美  
(茨城県)  
音楽鑑賞



ハジ  
土師 拓也  
(岡山県)  
二次元に生きること



原 千得  
(岡山県)  
音楽を聴く



藤原 勇斗  
(岡山県)  
ソフトテニス



吉本 瑞姫  
(岡山県)  
カラオケ、演劇



米川 洸孝  
(茨城県)  
読書、ゲーム



大久保 楓  
(東京都)  
バスケットボール



大園 さくら  
(愛知県)  
旅行



澤田 健斗  
(広島県)  
音楽



霜山 夏帆  
(北海道)  
旅行



カバヤ食品





鈴木 啓之  
(岡山県)  
映画鑑賞



鈴木 佑菜  
(埼玉県)  
旅行



高橋 明香  
(埼玉県)  
スキューバダイビング



田中 聖也  
(東京都)  
サッカー



藤本 起生  
(兵庫県)  
野球



本道 大夢  
(大阪府)  
サッカー



榎井 瑞歩  
(京都府)  
スポーツ



待鳥 健一  
(福岡県)  
ソフトテニス



大高 璃奈  
(茨城県)  
音楽鑑賞



河西 紫穂  
(茨城県)  
読書



木永 美和  
(岡山県)  
スポーツ



山崎 紗裕美  
(岡山県)  
音楽鑑賞



Life Design  
KABAYA

ライフデザイン・  
カバヤ



大川 魁  
(高知県)  
サッカー



柏野 玲琳  
(岡山県)  
マジック



川合 春菜  
(岡山県)  
ライブ観戦



桑田 晴生  
(広島県)  
野球



坂口 奈緒子  
(岡山県)  
ミュージカル鑑賞



白井 勤智  
(広島県)  
野球



内藤 友紀  
(岡山県)  
旅行



内藤 友保  
(岡山県)  
旅行



福田 陸斗  
(岡山県)  
ロードバイク



藤井 大輝  
(岡山県)  
スポーツ観戦



眞木 理名  
(岡山県)  
野球観戦、漫画



松野 光甫  
(兵庫県)  
サッカー



三村 かれん  
(岡山県)  
スノーボード



宮本 歩夢  
(岡山県)  
フットサル



森部 葵  
(岡山県)  
ダンス



Link  
&  
Linkage

リンク  
&  
リンケージ



小林 将也  
(岡山県)  
将棋



タカキ  
高木 優里  
(岡山県)  
音楽鑑賞



エクセル  
バック・  
カバヤ



上野 尚生  
(福島県)  
サバイバルゲーム



亀井 宏哉  
(岡山県)  
音楽を聴くこと



久保 悠平  
(岡山県)  
ドライブ



多田 麻佑子  
(岡山県)  
ドライブ



西崎 健人  
(岡山県)  
ゲーム、読書



マサダ  
正田 愛奈  
(岡山県)  
手芸



山村 奈央  
(宮崎県)  
カメラ



ライフ  
パートナー・  
イケダ



池田 琴音  
(神奈川県)  
絵を描くこと



本石 怜  
(埼玉県)  
イラストを描くこと



モリヤマ  
森谷 桃花  
(神奈川県)  
音楽鑑賞



東京  
レジャー開発



伊垣 葵  
(茨城県)  
音楽を聴くこと

本人写真

氏名  
出身地  
趣味



# いち早く戦力として 活躍するため 新入社員研修スタート！

初 日



初日は、日本カバヤ・オハヨーホールディングスの沖山孝雄顧問がこれまでのキャリアを紹介。自身の体験談を通じて仕事をするということはどういうことなのかを話しました。その中で、何事も前向きに取り組むことの重要性を説き、「いろんな失敗をしてほしい。失敗することで人は成長する」とアドバイスしていました。

グループの存在目的に対する研修では、哲学者の大橋一陽氏が講義しました。哲学の観点から分かりやすく解説し、分からないことに対しては質問を受け付けたことで、新入社員も理解を深められたようです。

夜には各社の役員を交えた懇親会を開催。基弘社長が恒例となっているあいさつの仕方やビールの注ぎ方を紹介した後、乾杯。新入社員は役員、同期との会話を楽しみ、会場は終始和やかな雰囲気となりました。締めあいさつでは、安藤喬副社長が「運という字は『はこぶ』とも読みます。運はいろんな場所へ足を運ぶことで得られるのです。新社会人として、自ら率先して行動することを心掛けほしい」と激励。新入社員は社会人としての長い1日を終え、ホッとした顔をのぞかせていました。

## 2～3日目



2日目からは、より社会人として実践的なことを学ぶ講義がスタート。まずは各グループ会社の事業内容や歴史を紹介。現状や具体的な仕事内容を聞くことで、仕事に対するモチベーションを高めていました。その後、「The 商社」という企業としてより多くのキャッシュと資産の獲得を目指す経営シミュレーションカードゲームを実施。資金を増やすための交渉の仕方は自由ですが、お互いにメリットや信頼関係がなければ取引が成立しにくい設定になっており、新人ながらお互いの手の内を探り合い、見せ合いながら交渉を進めることで、商品売買の流れや事業を拡大するための方策を体感していました。



ゲーム後、講師は信頼関係の構築に対して、元々よくあいさつする、ミスをしたら素直に謝るなど、ちょっとした態度や行動で信頼を高められると紹介。うなずきながらメモを取るなど、新人にとって具体的で分かりやすい内容の研修となりました。

3日目は、外部専門講師から社会人としてのあいさつの仕方やメールの書き方、社内外で有効なコミュニケーション技法などを学びました。真剣にメモを取るなど一日でも早く会社に貢献できる社員になろうとする姿が見られ、グループ企業が求める人材へ着実に歩みを進めていました。

## 4～5日目



昨年から実施している仲間と意思を一つにし、多様性を発揮しながら一つのゴールに向かっていくチームビルディング研修。初日は倉敷市にある少年自然の家で、チームごとにレクリエーションや飯ごう炊飯を実施。まき割りや火おこしなど非日常的な作業経験を共にすることでグループ社員同士のきずなを深めました。

翌日は、グループ研修で築いたチームワークの集大成として、「キンボール」という球技を実施。チームごとに戦略を立て、各人の個性を生かしながらチームで物事に取り組むことの重要性を再確認しました。



# R&Aとの絆を深めたWAAP開催の意味



新元号が発表され、平成から令和へのカウントダウンが始まった2019年4月末。ザ・ロイヤル ゴルフクラブで開催された「アジアパシフィック女子アマチュア選手権(WAAP)」で安田祐香が「アジア太平洋女子アマNo.1」の称号を手にした。

母国のファンに囲まれて、世界への切符を見事に手にした安田だが、女子ゴルフ界の発展・女子ジュニアゴルファーの育成を掲げる本大会開催が成功裡に終えられたことを誰よりも喜んだのはR&Aである。

男子アマと違い、女子アマがアジア太平洋地域から世界のトップトーナメントへ繋がる大会はこれまでなかった。女性の社会進出が急速に進む昨今、そんな状況を打破すべく立ち上がったのがR&Aだった。その想いとザ・ロイヤル ゴルフクラブのコンセプトのひとつ「世界に通用する選手を育成するコース」が共鳴し、昨年度から日本カバヤ・オハヨーグループがWAAPをサポート。昨年シンガポールで旗揚げし、アジア太平洋地域で定着させるため、着実に日本で2歩目を歩みだしたのだ。

大会中は1週間、R&Aのチーフエグゼクティブであるマーティン・スランバース氏をはじめ、現キャプテンであるクリス・ヒルトン氏、さらにチャンピオンシップコミッティー委員長そうそうのクライブ・T・ブラウンなど、R&Aの中核を担う錚々

たる顔ぶれが一堂に介した。これがどれほど凄いことか。世界の4大メジャー・全英オープン開催と同じくらいR&Aが力を入れていると表現すれば、その規模感が伝わるだろう。それほど女子ゴルファーの発展に対し、R&Aは本気なのだ。

クラブハウスではオハヨーの乳製品、カバヤのお菓子が選手及び関係者に振舞われ、口にしたほぼすべての人が「すごくおいしい。自分の国にもこんなおいしいデザートやお菓子があつたらいいのに」と大絶賛。特にオハヨーのプリンがとにかく人気で、料理を提供するブッフェのデザートテーブルに商品が並ぶと、選手たちは一目散で駆け寄り、ひとり最低2つは自分の皿に盛りつけていた。

世界のゴルフ界の最高峰に位置するR&Aと、良好な関係を築き、さらに絆を深めた日本カバヤ・オハヨーグループ。世界のゴルフ場を知る彼らから、ザ・ロイヤル ゴルフクラブのコースクオリティ・戦略性の高さ・充実した練習施設に「素晴らしい環境だ」と多くの称賛の声もらった。“世界基準”。そのコンセプトで2016年1月にコース改修を進め、早3年半。着実に世界のゴルフ関係者から評価を集める一方で、まだまだこれで満足するわけにはいかない。世界に誇れるゴルフ場になるべく、これからもR&Aとタッグを組み合わせながら歩み続ける。

# あふれる笑顔 社員の「和」広がる



ライフデザイン・カバヤは、4月17日、岡山市北区の岡山ドームで、全社員と家族ら約400人が参加した大運動会を開催しました。

運動会を通じて普段あまり顔を合わせる機会の少ない社員らの親ほくを図り、会社全体の結束力を高めようと企画。本部、岡山支店、倉敷支店、福山支店の4チームに分かれて得点を競いました。対人関係が希薄な社員が増え、社内行事に二の足を踏む企業が多い中、前回の運動会で社内での一体感が高まり業務でのコミュニケーションも円滑になっており、その後の好業績にもつながっています。

大会に向けて業務後に集まり、各チームで横断幕を手作り。参加する種目を練習する社員も増えました。当日は、定番の二人三脚やチーム対抗リレーに加え、木材をのこぎ

りで切って運ぶ「大エリレー」、バトンの代わりに名刺や契約書をリレーし、最後に上司にサインをもらう「営業マンリレー」など住宅メーカーらしい趣向を凝らした競技で会場は大盛り上がり。宝探しなど子どもが楽しめるイベントも企画し、盛りだくさんの内容となりました。また、グループ会社の瀬戸内海経済レポートが企画から会場の準備、大会運営などをサポートし、スムーズに大会を進行することで成功の一翼を担いました。

優勝は、岡山支店チームが倉敷支店を逆転し、大会2連覇を成し遂げました。窪田健太郎専務は「住宅メーカーは厳しい時代を迎えるが、運動会を通じて社員の結束力を高め、難局を乗り越えたい」と話しており、今後も定期的開催する考えです。



# 専門医のお墨付き！ 口内フローラとロイテリ菌に関する メディアセミナーを開催



▲セミナー風景



▲質疑応答の様子



▲個別取材に対応する若林先生



▲セミナー終了後も記者の皆さんで行列に

オハヨー乳業とオハヨーバイオテクノロジーは5月30日に『「口」から働いてくれる特殊な乳酸菌によるバクテリアセラピーの可能性』と題したメディアセミナーを実施し、約30社50人もメディア関係者の皆さんにご来場いただきました。

このセミナーはロイテリ菌の啓蒙活動の一環として、口内ケアを皮切りに全身疾患のトラブルを引き起こすことを伝えることが目的。歯科医の若林健史先生と坂本紗有見先生をお招きし、それぞれお口の健康の重要性を医学的な観点でお話いただきました。若林先生からは口内フローラや口と全身の健康との関係性について、坂本先生からはロイテリ

菌を活用した口内フローラ良化の最新臨床について、それぞれプレゼンテーションをしていただき、質疑応答では来場されたメディアの方々から多数の質問が寄せられました。時間をオーバーするほどの質問の多さに、口内環境改善へ関心の高さを伺うことができました。特に、口臭や口内の不快感、歯周病に対する危機感が高い様子でした。ロイテリ菌について興味を持っていただけたことはもちろんですが、消費者から求められるものを提供できていることへの自信につながるセミナーとなりました。これからも、より多くのお客様に届けられるよう、まい進していきたいと思っております。



**日本カバヤ・オハヨーホールディングス 池田動物園に入場ゲート寄贈**



日本カバヤ・オハヨーホールディングスは、池田動物園（岡山市）に入場ゲートを寄贈し、4月21日に完成セレモニーが開かれました。

池田動物園は、岡山藩主池田家16代当主・故池田隆政氏が、上皇さまの姉、厚子さんと結婚した翌年開園した動物園。長年地域に愛されてきましたが、老朽化していたため、令和元年を迎えるのにふさわしい新しい動物園の顔が必要と寄贈しました。

新ゲートはライフデザイン・カバヤが設計・施工。屋根に岡山県産材を使った木造集成パネル建築材「CLT」を用い、背景の京山の緑とCLTの木目が調和するように仕上げました。

式典で野津基弘社長は「県民のかけがえのない財産としてこれからも在り続けてほしい」とあいさつ。池田厚子さんは「心よりうれしく思います。これからも末永く動物を愛する方々をお迎えし、動物との触れ合いを楽しんでいただけるよう、心から願っています」と感謝の言葉を述べました。

日本カバヤ・オハヨーホールディングスとライフデザイン・カバヤは、「池田動物園の未来を考える会」のメンバーとして、同動物園をサポートしています。

**710人が学生生活スタート**



専門学校岡山情報ビジネス学院は、4月9日、ホテルグランヴィア岡山で入学式を実施しました。

15学科577人が晴れて入学。榊原俊章学院長は、1万1000人を超える卒業生がいることを伝え、「将来ビジョンを確立するため、大いに考え、悩み、そして実現に向けた自分磨きと挑戦を続けてほしい」とエールを送りました。

その後、新入生を代表して公務員速修学科の大平芽唯さんが「新入生一人ひとりがそれぞれの目標に向けて勉学に励み、さまざまな活動を積極的に取り組んでいきます」と力強く宣誓しました。

また、クラーク記念国際高等学校岡山キャンパス（専修学校自由高等学院）は51人、希望高等学園は82人が入学し、新たな学生生活をスタートしました。



## ピュアラルグミ「100万人サンプリングキャンペーン」を実施！

(文：カバヤ食品株式会社 カテゴリ戦略室 第三グループ 横部新太郎)



カバヤ食品株式会社  
カテゴリ戦略室 第三グループ  
横部新太郎

2019年、カバヤ食品は「ピュアラルグミ」ブランドをさらに成長させていくため、「100万人そとフワなかブル体験キャンペーン」を実施しています。

「ピュアラルグミ」は、リピート購入率が高く、雑誌やイベントによる食べ比べ企画においてもNo.1をとるなど、品質において高い評価をいただいています。一方で他社商品に比べて商品の認知率が低いという状況で、認知率の改善を図るプロ

モーション企画が必要と考えました。

プロモーションの内容を検討する中、ピュアラルグミのおいしさの特長である「香り立ちの良さと独特な食感」を、実際に体験していただくことが一番お客様にとって印象に残るのではという結論に至り、サンプリングを軸としたキャンペーンを、1年を通じて数回に分けて実施することにしました。

まず、2～3月に、約40万人に向けてオフィスでのサンプリングを実施しました。5月からは全国のクッキングスタジオと保育園で約10万人に向けてサンプリング。下半期の詳細な内容は未決定ですが、8月、11月とサンプリングする対象やサンプリングの方法を工夫しながら継続して

いきます。また、同時に、WEB広告、Twitterによるキャンペーンも合わせて実施します。

2～3月のキャンペーンでは、認知や購入に対しての一定の効果が見え、品質が強みであることと、今は認知を拡大していく段階であることを改めて認識することができました。しかし、ボリュームとしては物足りなく、今後は、効果を最大化するためのチャレンジを企画に盛り込んでいく必要があると感じました。より効果的に認知を拡大するためには、プロモーションに触れた人で完結するのではなく、広がりが必要。下期に向けて、お客様にはもちろん、取引先、社内の方々が話題にしたくなるような企画にしていきたいと思います。



## ライフデザイン・カバヤ 2018年度営業個人目標達成者を表彰 人材育成実を結び若手社員の販売棟数アップ

ライフデザイン・カバヤは、4月4日、岡山市北区の岡山コンベンションセンターで、2018年度第一回全体会議を開き、18年度の営業個人目標達成者を表彰しました。

個人賞は、エス・バイ・エル部門とカバヤホーム部門で年間目標達成者上位5人を表彰しました。エス・バイ・エル部門のトップは花土隆志さん。販売棟数31棟で1位を獲得しました。カバヤホーム部門は、端場敦思さん。販売棟数は20棟ですが、利益金額が高かったことを考慮し1位となりました。また、第4四半期の個人賞では、エル・バイ・エル部門で新入社員の田中彼方さんが4位と大健闘。その他にも若手社員が販売棟数を増やしており、ここ数年の課題だった若手を中心にした人材育成が着実に進んでいることがうかがえました。

基弘社長は「社員一人ひとりが今すべきことを考え、行動し、お客様にとって頼られる存在となっています。これからもグループ会社をけん引する存在として、社員一丸でまい進してほしい」と激励しました。

今後も「ALL for ONE」の精神で業務に取り組み、現場力を存分に発揮することで、地域の住宅メーカーとしてライフデザイン・カバヤの存在感を高めていきたいと思います。



## 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 広報部より

当初よりお伝えしていますが、会社に対して3回以上質問・意見・提案したこと、評価に対して知らされていない、3ヵ月以上返答がない、または納得が出来ていない、現場で抱えている問題…等々、誹謗中傷以外、あなたの発言を尊重して守り、個の利益・利害を阻害することなく、全て受け付けます。

ALL for ONEの精神にのっとり、問題・課題の解決に向けて取り組むことこそが事業にとって、あなたにとっての利益となると考えます。

現場にこそ答えがある。

ご連絡お待ちしております。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 広報部 担当:ブランディング戦略室 西山  
Fax: 086-231-4783 Mail: [info@kabaya-ohayo.jp](mailto:info@kabaya-ohayo.jp)

# ONE for ALL

当事者意識を以って、個々の人生設計を中・長期経営計画に映し出し、自らの豊かさと事業の成長・発展を一致させ実行し、達成する。

# ALL for ONE

現状から目を背けず、現実を直視し、真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする。トップからのメッセージを直接伝えると同時に、それぞれの取り組みにフォーカスし、全社一丸となってその一人を支えていく。

### 編集後記

新入社員の皆さん、ご入社おめでとうございます!! グループ社員一同、皆さんをお迎えすることができ、とても嬉しく思っています。皆さんの若い力を世界、日本、地域活性のためにぜひ役立ててもらえればと考えています。私も約20年前新入社員でした。右も左も分からず、不安はたくさんありましたが、周りからの温かいサポートを受け、仕事を覚えることができました。皆さんをサポートしていくのが先輩社員である私達の勤めだと考えています。分からないことは遠慮せず、近くの先輩社員に何でも聞いて下さい。1日でも早く皆さんが会社に慣れ、力を発揮できるよう願っています。グループ経営方針の中に、【失敗を恐れず挑戦し、強靱な企業体質になる】という言葉があります。ぜひ失敗を恐れず前向きに仕事に取り組んで下さい。(ブランディング戦略室 西山)



### 投稿・ご意見募集中!

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見やALL for ONEの感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。ご意見、ご感想をお待ちしています。



日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ  
Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.26

発行: 2019年8月1日  
制作: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 広報部  
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階  
TEL: 03-3222-7311

NIPPON  
KABAYA OHAYO  
HOLDINGS  
INC.

**ONE for ALL**

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする